

令和6年度に向けた 重点的検討課題について

テーマ① ESGなど国際標準化時代に対応するための取組み

令和5年5月29日
新産業戦略PT事務局

1. 検討の進め方

- 検討にあたっては、テーマに関わるサブテーマ（案）をいくつかお示しします。
- 自由闊達にご議論いただければ幸いです。（トークセッションのようなイメージ）
- ご議論いただいた内容を踏まえて、令和6年度の重点的な取り組みの方向性を決定します。

2. 検討テーマ

【テーマ①】

ESG（環境・社会・ガバナンス）など国際標準化時代に対応するための取組み

2. 検討テーマ

【検討にあたっての課題認識】

富山県成長戦略 新産業戦略
継続的な検討課題 (抜粋)

世界的に、ESG（環境・社会・ガバナンス）への国際標準準拠と評価の要求が、サプライチェーン全般に対して進んでいる。

富山県には部品や素材、生産機械などサプライチェーンの上流に位置する中小企業が多いため、「国際標準化時代の地方産業の在り方」を描き、DXを取り入れた省人化など先手を打った対応準備を県が支援し、SDGsを県民運動化することなどにより、競争力の維持・強化を図る。

→ものづくり産業をはじめとする富山県の産業が、国際標準化時代に適切に対応していくためには？

→さらに人やお金(ESG投資等)を呼び込むためには？

3. ディスカッション

サブテーマ① (案)

「これからの地方産業に求められる
国際標準準拠と評価とは？」

<目的>

テーマ①の議論を進めるにあたり、“国際標準化”の具体的なイメージやP Tで取扱う範囲を明確化する。

3. ディスカッション

サブテーマ② (案)

「中小企業が脱炭素経営、SDG s 経営
を行うインセンティブは？」

<目的>

中小企業に脱炭素経営、SDG s 経営を促すために何が必要か検討する。

3. ディスカッション

サブテーマ③ (案)

「人権や生物多様性に配慮した製品づくりをすすめるには？」

<目的>

人権や生物多様性にも配慮したものづくりを推進するためには、どんな課題があり、何が必要か検討する。

3. ディスカッション

サブテーマ④ (案)

「サプライチェーン全体でESGに取り組むために必要なことは？」

<目的>

サプライチェーン全体でESGに取り組むために必要なきっかけ、環境について検討する。